

# ぼだい樹

42

2004/6/15  
津島市神明町2  
元神宮寺宝寿院  
0567・25・4154

## 八月二十四日施餓鬼会

### おせがきってなあに？

いまより二千年以上も前のお話です。

お釈迦様のお弟子の目連様が亡くなったお母さんの今を知りたくて 瞑想して居ました。極楽を見ても見当たりません。地獄を見ると、餓鬼(がき)となつてやせ衰えた母が、食事をしたくても目前で火となり、水も 喉をとおらぬほど細くなつています。目蓮様は悲しくなりました。あんなに自分を 慈しみ育ててくれた母が どうして苦しむのだろう。「お釈迦様 どうしたら母を救う事が 出来るのでしょうか」

「お前の母は わが子の事を思うあまり

他の子供を傷つけたり お前が欲しがれば

たった一つの物でもお前にだけ与えていた

その為に地獄に落ちてしまったのだ。今か

らでも遅くない。修行を勤めた僧侶を沢山

集めて、施餓鬼の法を勤めなさい」と。

私達は 知らない内に 他人を傷付けたり

私利私欲に走っています。私共は**せがき**を

勤めまず時 戦争の犠牲となつて なくな

られた人々や、弔われることのなかつた精

霊の為に 真剣に祈ります。水子のおかあ

さん 水子霊の心安かれとお祈り下さい。

### 初夏の歳時記

五月スタンプラリーのクイズは難しく、  
正解者十五名おめでとつ。雨天にもかか

わらずトコロテンも完売 ありがとつこ

ざいました。あやめ・菖蒲・いちはつ等

初夏の庭で咲き競っています。菩提樹の花

素晴らしい香りとともに咲き 蜂が蜜を

求めて沢山集まつてきます。四季咲の萩も

ピンクの花をつけ、九月も 又開花します。

郵送で施餓鬼の申し込みを受け付けてい

ますが、ぜひ寺まで足を伸ばしてください。

緑鮮やかな木々が お待ちしています。

### 秋の 宝寿院行事案内

九月二十二日 2時 永代経

毎月一・八・十五日 薬師ごま祈禱

家相・運勢・命名 予約

すいきんくつ

## 水琴窟ごあんない

平成十五年四月完成しました。

龍神さまへお参りする前に、手を清めます。

水漱の水をひしゃくで汲み、ながします。

下に落ちた水が地中の水瓶に滴り落ちて、

不思議な幽玄の水音を聞かせてくれます。

水琴窟つてなあに。とさがしても発見でき

なくて帰る人が 沢山居ます。よくみてね。

話を聞くだけでは駄目。体験して下さい。

水音が良く聞こえる様に作られています。

手を洗いしながら、いやされてください。

その後ろの太木は イスの木です。

二本の枝が 幹の途中で 又一本の木と

なっている夫婦和合の 双連の木です。

自然は何と不思議な事でしょう。

水漱は文政年間  
寄進された水鉢

